

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(単位：千円)

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A 決算・実績						事業の成果・効果		予算区分	
							総事業費	B 補助対象 事業費	C 国庫補助 額	D 交付対象 経費	E 起債予 定額	F その他	G 補助対 象外経 費	事業の成果 (アウトプット)		事業の効果検証 (アウトカム)
1	単	生活交通バスICカード導入推進事業費補助事業	企画課	①路線バスへ交通系ICカードを導入することにより、非接触による新型コロナウイルス感染症感染予防対策、利用者の利便性の向上及び乗降者数等のデータ収集を図り、持続可能な公共交通体制を構築する。 ②交通事業者(バス)の交通系ICカードシステム導入に係る経費を支援する。 ③導入に係る総事業費に対し、国と県が1/3、弘南バスが1/12、関係14市町村が1/4負担する。関係14市町村の負担割合については令和2年度の乗降客数割合と便数割合から算出。(黒石市按分率5.923%) 総事業費490,446千円×1/4=122,611千円 122,611千円×5.923%=7,262千円 ④弘南バス株式会社	R5.3	R5.3	7,262	7,262		7,262				弘南バス(株)が運行する全ての路線バス車両(190台)に交通系ICカードシステムを導入することができた。	新型コロナウイルス感染症の感染リスクが低減され、地域住民のほか観光客等来訪者の交通利便性が向上した。	R4当初(地)
2	単	黒石産品海外販路開拓拡大戦略事業【地域の魅力発信セミナー分】	企画課	①外務省主催の地域の魅力発信セミナーに参加し、招待される各国の駐日外交団や輸出関連企業、観光関連企業に向けて、市産品や観光のPRを実施し、コロナ禍で減少している国内需要への対応策として将来的な海外への販路開拓、インバウンド観光客確保のための旅行商品の造成を目指す。 ②当該セミナーに参加するための旅費やブースの企画運営にかかわる委託費 ③地域の魅力発信セミナーに関わる経費 1,104,029円 普通旅費 362,000円 ・東京出張旅費(事前打合せ) 1泊2日(職員2人) 103,900円 ・東京出張旅費(セミナー参加) 1泊2日(職員5人) 258,100円 費用弁償 51,620円 ・東京出張旅費(セミナー参加) 1泊2日(非常勤職員1人) 51,620円 手数料 5,400円 ・セミナー使用半纏クリーニング代 5,400円 委託料 685,009円 ・三味線演奏出演業務委託料 212,322円 ・黒石市参加イベントブース運営調整等業務委託料 472,687円 ④市、市内事業者、農家、観光協会	R4.7	R4.12	1,105	1,105		1,104		1	外務省主催の地域の魅力発信セミナーにおいて、市観光資源・産品のプロモーションを実施した。 PR対象セミナー参加人数 62人	海外の各国代表団に市のPRを実施したことで、コロナ禍で激減した市産品の需要回復の一助となった。また、セミナーの出席者と令和5年度に旅行会社招へい事業を実施することができた。	R4当初(地)	

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

3	単	津軽の手踊り交流・海外よされ大使育成事業	企画課	<p>①シドニー現地の盆踊りグループと、当市の伝統芸能である黒石よされや津軽の手踊りを通じた交流をし、コロナ収束後の反転攻勢を見据えた将来的なインバウンド観光客の誘客へとつなげる。</p> <p>②交流に関わる消耗品費の購入や運送費、現地グループの踊り指導活動費、現地イベントに参加するための関係者のシドニーへの旅費・出演調整の委託費</p> <p>③津軽の手踊り・海外よされ大使育成事業 6,329,281円 特別旅費 1,419,978円 ・シドニー出張旅費 5泊6日（副市長、職員1人） 983,072円 ・シドニー出張旅費 6泊7日（職員1人） 436,906円 費用弁償 498,896円 ・シドニー出張旅費 6泊7日（非常勤職員1人） 498,896円 消耗品費 77,550円 ・黒石よされ用品一式購入費用 77,550円 通信運搬費 64,500円 ・スマホ・Wi-Fiレンタル料 51,500円 ・黒石よされ用品郵送料 13,000円 委託料 4,268,357円 ・オーストラリアプロモーション旅行手配業務 2,968,357円 市からの出演者（5名）渡航費等 ・PR支援業務 1,300,000円</p> <p>④市、観光協会、市内手踊り団体、シドニー現地盆踊りグループ</p>	R5.1	R5.2	6,414	6,414	1,700	4,713	1	<p>令和5年2月に開催されたシドニーのイベントにおいて、市内踊り指導者が現地踊りグループほかイベント参加者に対し、黒石よされを指導しながら観光PRを実施した。</p> <p>黒石よされ指導人数 100人</p>	<p>イベントに参加した方で、実際に2組黒石市訪問につながった。また、豪州に市のPRをする人材を育成することができ、海外渡航が規制された場合でも継続的な観光PRをすることが可能となった。実際に令和5年9月及び11月にシドニーで開催されたイベントで黒石よされを披露し、認知度の向上が図られた。</p>	R4当初（地）
4	単	サテライトオフィス対応事業	財政課	<p>①新型コロナウイルス感染拡大に伴い、テレワークが普及し、現在の運用方法では決裁が滞る可能性がある。そのためシステムをクラウド化し、電子決裁システムを導入することで業務を円滑に進める。</p> <p>②公会計システム電子決裁機能、公会計システムクラウド移行</p> <p>③委託料 ・公会計システム電子決裁機能 2,552千円 ・公会計システムクラウド移行 1,540千円</p> <p>④庁舎</p>	R4.6	R5.3	4,092	4,092		4,092		<p>公会計システム電子決裁導入</p>	<p>電子決裁を導入することで人との接触や、密な状況を回避することができ、感染予防効果があった。</p>	R4当初（地）
5	単	新型コロナウイルス感染症対策周知事業	総務課	<p>①新型コロナウイルス感染症のまん延状況に応じ、市民や事業者へ感染拡大防止等について迅速に周知する必要がある文書を外注することなく庁内で短時間に印刷することができる体制を整えるため、高速カラープリンターを導入する。</p> <p>②高速カラープリンター購入設置費用</p> <p>③7,535,000円 （内訳）本体・オプション・搬入設置費 5,753,550円 保守料 1,569,700円 初期消耗品（インク・ステープル） 211,750円</p> <p>④市民・事業者・市</p>	R4.4	R5.3	7,535	7,535		5,935	1,600	<p>○毎戸配布数 約11,000戸 毎戸配布の回数 5回</p> <p>○回覧数 約2,000枚 回覧の回数 2回</p>	<p>高速カラープリンターを導入し、新型コロナウイルス感染症のまん延状況に応じ、市民や事業者へ感染拡大防止等について迅速に周知する必要がある文書を、外注することなく庁内で短時間に印刷できる体制を整え、毎戸配布により市内の全世帯へ迅速な周知を行った。</p>	R4当初（地）

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

6	補	マイナンバーカードを活用したコンビニ交付導入事業	市民環境課	①マイナンバーカードを活用して住民票の写し、印鑑登録証明書及び戸籍の証明書を自動交付する「コンビニ交付」を導入するためのシステムを構築し、コロナ禍に対応した市民サービスの向上を図る。 ②コンビニ交付導入のためのシステム構築費用 ③【委託料 35,535千円】 ・ 戸籍の証明書（コンビニ交付システム初期導入構築業務+保守） 19,250,000円+313,500円 ・ 住民票、印鑑登録証明書（コンビニ交付M I S A L I O連携対応+保守） 15,972,000円 【手数料 3千円】 コンビニ交付開始前試験手数料等2,700円 【負担金 185千円】 証明書交付センターの運営負担金（地方公共団体情報システム機構）184,910円 ④市民	R4.4	R5.3	35,722	35,722	17,861	17,860	1	全国のコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末から住民票の写し等を取得できる「コンビニ交付サービス」を導入 ○開始日：令和5年3月1日 ○時間：午前6時30分から午後11時まで（年末年始等除く） ○証明書：住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部（個人）事項証明書、戸籍の附票の写し	市民の利便性が向上したほか、市役所窓口の混雑を緩和することでコロナへの感染リスクを下げ、また、マイナンバーカードの普及促進が図られた。 ○令和5年3月実績 ・ 住民票の写し 119通 ・ 印鑑登録証明書 62通 ・ 戸籍全部（個人）事項証明書 28通 ・ 戸籍の附票の写し 2通 ○利用店舗 ・ 県内185通（黒石市152通、市外33通） ・ 県外26通	R3補正 (国)
7	補	上下水道料金等のコンビニ収納・スマホ決済導入事業	上下水道課	①納入通知書にバーコードを付し、それを読み取ることによって水道料金等の支払が可能なシステムを構築し、コロナ禍に対応した住民の利便性の向上を図る。 ②コンビニ収納・スマホ決済に係る経費 ③印刷製本費 542,000円 初期契約料 110,000円 システム改修費 2,310,000円 ④水道料金等支払者	R4.8	R5.3	3,012	3,012	1,404	1,286	322	水道料金等の支払をコンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリで納付できるシステムを導入した。	市役所や金融機関の開庁時間外である夜間や休日でも、水道料金等が納付できるようになったことで、窓口での納付の混雑が緩和され、新型コロナウイルス感染防止が図られた。	R3補正 (国)
8	単	黒石農産物等販売力強化事業	農林課	a. 遊休農地を活用する農福連携事業【6款1項3目】 974,000円 ①コロナ禍により、外国人技能実習生等の雇用も難しい中、福祉施設等の利用者が就労訓練の場として農業に携わることで社会参加を支援するとともに農業の労働力確保に繋げる。 ②農作物の植栽から販路までの環境整備に要する経費 ③消耗品費：34,000円 修繕料：858,000円 手数料：11,000円 委託料：0円 原材料費：71,000円 ④市内農業者、福祉施設 b. くりいし農産物等販売力強化事業【6款1項3目】 162,000円 ①コロナ禍の影響を受けた農産物の新たな販路確保を支援する。 ②地産地消のマルシェの実施及び新たな販路開拓に向けた取り組み支援に関する必要経費 ③事業報償：0円 普通旅費：133,000円 消耗品費：29,000円 通信運搬費：0円 補助金：0円 ④市内農業者、農業法人 c. 黒石産農産物ファンマーケティング展開事業【6款1項3目】 1,346,000円 ①コロナ禍により、消費者のライフスタイルも変化し、自宅にいながら食材を注文できるインターネット販売の需要が急激に増えていることから、産直ECサイトと連携し、農産物の販路拡大に取り組む。 ②産直ECサイト内の、黒石産農産物や黒石市特設ページのサーバー保守・メンテナンス及び販路拡大に向けたプロモーション活動に要する経費。	R4.4	R5.3	2,479	2,479	2,478	1	a. 遊休農地を活用する農福連携事業 →福祉施設等の利用者に対して農作業の機会を提供することで、就労訓練の場として活用できたとともに、生産した農作物を販売することで収入の確保につなげることができた。 【収穫実績】 ・ カシス 26.4kg ※収穫物はすべて農産物加工業者へ販売 b. くりいし農産物等販売力強化事業 →コロナ禍の影響を受けた農産物の販路拡大等を図るため、大手量販店において市長トップセールスをはじめとする販促イベントを実施した。 【開催実績】 ・ 2022年9月、イトーヨーカ堂弘前店において地産地消フェアを開催。 ・ 2022年10月、イトーヨーカ堂アリオ葛西店において市長トップセールスを開催。 c. 黒石産農産物ファンマーケティング展開事業 →販路拡大プロモーションの実績	a. 農福連携事業は、福祉施設利用者の社会参画に向けた就労訓練の機会を提供するための手段として有効であることがわかった。また、同時に課題となっている遊休農地の解消にもつながるため、今後も取組みを拡大していく。 b. くりいし農産物等販売力強化事業の実施により、地元農産物の販売促進につなげることができた。特にトップセールスは高い集客力を発揮した。 c. 黒石産農産物ファンマーケティング展開事業では、産直ECサイトの活用における農業者の所得向上につながった。また、一定のリピーター確保にも効果があった。	R4当初 (地)	

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

				③時間外勤務手当：86,000円 消耗品費：20,000円 通信運搬費：8,000円 委託料：1,232,000円 ④市内農業者										・注文件数：800件 ・販売金額：1,909,570円		
9	単	アグリガールチャレンジJumpUp事業	農林課	①新型コロナウイルス感染症の長期化により、売り上げ減少などの影響が生じている農業者の深刻な局面を打開するため、地元農産物を利用した6次産業化商品の開発支援に資する設備を導入する。 ②黒石市バイオ技術センター6次産業化商品開発支援の加工装置整備する。 ③事業費2,613,000円 ア 修繕料 ・電気温水等設置修繕505,000円 イ 備品購入費 ・卓上充填機288,000円 ・真空急速冷凍機549,000円 ・食品粉碎機660,000円 ・真空包装機611,000円 ④市内農業者	R4.8	R5.3	2,423	2,423		2,422		1	市保有施設「黒石市バイオ技術センター」内に地元農産物を利用した6次産業化商品の開発支援に資する加工設備を整備した。 (内訳) ・電気温水装置 492千円 ・卓上充填機 407千円 ・電気乾燥機 517千円 ・食品粉碎機 317千円 ・真空包装機 493千円 ・卓上ウォーマー 104千円 ・その他消耗品 93千円	農業6次産業化の推進拠点として加工設備を整備したことで、新たな商品開発及び販路拡大による農業所得の向上につなげることが可能になるほか、廃棄農産物の減少（フードロス対策）による環境負荷低減にも寄与することから、多くの地元農業者に利用してもらおう周知し利用率の向上を図っていく。	R4当初(地)	
10	単	サービス券付き市内飲食店パンフレット作成支援事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症の影響により経営状況が依然として低迷している市内飲食店の事業継続を促すため、サービス券付きパンフレットを作成して市内飲食店（宿泊施設等を含む。）の利用機会の増進を図る事業を、支援する。 ②それぞれの店舗でプレゼントや割引が受けられるお得なサービス券付きパンフレットを作成する。 ③サービス券付き市内飲食店パンフレット作成支援事業1,288,000円 ・補助金 1,288,000円 完成品送料 44,250円 広告宣伝費 44,000円 制作費（デザイン、撮影） 891,000円 パンフレット印刷費 61.6円×5000部=308,000円 ④黒石商工会議所	R4.4	R4.9	1,288	1,288		1,287		1	市内宿泊施設、飲食店39店舗を掲載したサービス券付きパンフレットを5,000部作成し、市内各施設に設置したほか、近隣市町村に配布。	まつりシーズン前に配布できたことで、観光客や近隣市町村住民に市内事業者のPRができ、消費喚起につながった。	R4当初(地)	
11	単	キャッシュレス決済利用促進事業	商工課	①新しい生活様式への対応促進と、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市地域経済を活性化するため、キャッシュレス決済を利用した客がその店舗にリピートする仕組みを構築する費用を支援し、市内店舗の利用促進を図る。 ②キャッシュレス決済可能店舗で、キャッシュレス決済を利用した者に、キャッシュレス決済をした回数に応じたポイント等を付与し、当該ポイントが規定数を超えたら次回来店時に当該店舗でのみ使用できる割引券を配布する等を実施する。 ③キャッシュレス決済利用促進事業660,000円 ・消耗品費（ファイル等） 190,000円 ・通信運搬費 10,000円 ・広告料 110,000円 新聞広告20,000円×5回×税 ・補助金 350,000円 1店舗50,000円×7店舗 ④市民等	R4.9	R5.3	503	503		502		1	店舗が実施する、キャッシュレス決済の利用客に対する割引分について、1店舗当たり50,000円を上限として補助を行った。	割引分を補助することで、店舗側の負担が少なくなり、客側もお得感を感じるため、キャッシュレス決済の利用が促進された。 事業効果 50,000円×7店舗=230,400円	R4当初(地)	

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

12	単	観光イベント等感染対策事業	観光課	<p>①黒石で開催される観光イベント等の新型コロナウイルス感染症感染予防対策に係る経費</p> <p>②感染対策に係る経費</p> <p>③さくらまつり補助金 1,300,000円 中野もみじ山委託料 811,000円 事務費 さくらまつり時間外、消耗品費 168,000円 中野もみじ山時間外、消耗品費 165,000円</p> <p>④市内事業者、観光客</p>	R4.4	R5.1	2,366	2,366		2,365	1	<p>・黒石さくらまつり実施にあたり、会場内での飲酒を禁止し、飲食は決められた場所に限定した。ルールを徹底するため、エリアマネジメントとしてネットフェンスの設置を実施し、入込数は7,800人となった。</p> <p>・中野もみじ山紅葉狩りを安全に行うため、会場入り口での検温・手指消毒・連絡先の把握を行った。行政のマンパワー不足を補うため黒石観光協会に協力を委託し、入込数は48,000人となった。</p>	黒石さくらまつり、中野もみじ山紅葉狩りとも、クラスター等発生することなく安全にイベント実施ができた。コロナ禍でも実施できたことにより、アフターコロナの入込数回復が見込める。	R4当初(地)
13	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(事務費)	<p>税務課</p> <p>福祉総務課</p> <p>健康推進課</p> <p>観光課</p>	<p>①市民等が各種窓口や検診などの直接利用する際、安心安全な行政サービスを運用できるよう新型コロナウイルス感染症感染予防対策を講じる。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症感染予防対応に係る事務的経費</p> <p>③別添積算資料あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員手当等 528,000円 ・需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費等) 2,500,000円 ・通信運搬費 1,940,000円 ・使用料 313,000円 ・その他 58,000円 <p>④公共施設、事業実施会場等</p>	R4.4	R5.3	3,767	3,767		3,018	749	<p>乳幼児健診会場等での感染予防対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児健診12回 148人 ・1歳6か月児健診12回 187人 ・2歳健診12回 207人 ・3歳児健診12回 226人 ・がん検診調査票回収件数(受取人払件数) 3,201件、再勧奨ハガキ送付1,650件 ・子宮がん検診1回 81人 ・骨粗しょう症検診1回 27人 <p>・新型コロナウイルス感染症総合対策本部会議開催数 1回</p> <p>・チラシ毎戸配布回数…4回・抗原検査キット購入…754回分</p> <p>・申告相談会場内の入場者を制限し、会場外のホールに相談者の待合エリアを設けた。</p>	<p>乳幼児健診等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施したことで、受診者が安心して受診できる体制づくりができたほか、がん検診調査票の回収方法を協力員による訪問回収から郵送による回収に切り替えたことで、非接触による感染及び感染拡大リスクの軽減に繋がった。</p> <p>・国県等の感染対策の方針を踏まえ、新型コロナウイルス感染症総合対策本部会議を開催し、決定した方針内容を周知するため、市広報紙での情報発信に加え、チラシを全世帯に毎戸配布するなど、市民の感染予防意識の高めることができた。</p> <p>・公共施設従事者で感染疑い者が発生した際、感染疑い者以外の職員への検査及び健康観察により、施設運営が継続可能な体制を整備した。</p> <p>・広い空間に待合エリアを設け、相談者同士の接触機会を低減させることで、相談者の安心安全と市職員及び相談者相互の感染拡大防止に寄与した。</p>	R4当初(地)
14	単	黒石市国民健康保険黒石病院院内洗面所蛇口感染対策改修事業	健康推進課	<p>①新型コロナウイルス感染防止対策として、院内洗面所の蛇口に赤外線センサーを設置し、非接触型に変更する。</p> <p>②洗面所改修工事</p> <p>③洗面所赤外線センサー設置工事：95か所(全127か所のうち) 150,000円×95か所</p> <p>④黒石市国民健康保険黒石病院</p>	R4.4	R5.3	13,530	13,530		13,530		<p>手洗水栓95か所の非接触型(自動水洗化)改修経費として、13,530,000円を黒石市国民健康保険黒石病院へ繰り出した。</p>	手洗水洗の非接触化により、蛇口ハンドルを介した新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することが可能となり、院内整備の感染防止対策の推進に寄与した。	R4当初(地)
15	補	後期高齢者医療保険料のコンビニ収納・スマホ決済導入事業	国保年金課	<p>①後期高齢者医療保険料の納入方法にコンビニ収納・スマホ決済を加え、窓口納付での混雑・現金等の受渡しでの接触を減らすことで、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。</p> <p>②コンビニ収納・スマホ決済の実施に係る経費</p> <p>③システム改修 5,000,000円 収納代行業務委 28,000円 印刷製本費 363,000円</p> <p>④市民</p>	R4.9	R5.3	5,391	5,391	2,695	2,695	1	<p>後期高齢者医療保険料の納入方法に、コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリで納付できるシステムを導入した。</p>	夜間や休日でも納付できるようになったことで、窓口納付の際の混雑が緩和され、感染防止が図られた。	R3補正(国)

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

16	単	介護保険料のコンビニ収納・スマホ決済導入事業	介護保険課	①介護保険料の納入方法にコンビニ収納・スマホ決済を加え、窓口納付での混雑、現金等の受け渡しでの接触を減らすことで、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。 ②コンビニ収納・スマホ決済の実施に係る経費 ③ ・システム改修 5,000,000円 ・収納代行業務委託料 (LGWAAN接続導入費用) 28,000円 ・印刷製本費 591,000円 ④市民	R4.8	R5.3	5,619	5,619		5,618	1	介護保険料の納入方法に、コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリで納付できるシステムを導入した。	夜間や休日でも納付できるようになったことで、窓口納付の際の混雑が緩和され、感染防止が図られた。	R4補正 (地)	
17	単	農産物等輸出促進観光誘致事業 黒石フェア「レストランプロモーション」	農林課	①アフターコロナを見据え、海外において黒石産品の認知度を向上し商流(輸出)に結び付けるため、現地事業者と連携し飲食店、流通やメディア関係者、インフルエンサーを招き、黒石産品メニューを提供するレストランフェアを開催する。 ②レストランプロモーション実施、黒石産品輸出に係る経費 ③レストランプロモーション業務等委託料 2,400,000円 消耗品費 511,000円 通信運搬費 22,000円 時間外勤務手当 102,000円 ④コロナ禍により消費が落ち込んだ黒石産品の生産者	R4.11	R5.3	4,138	4,138		4,137	1	R4.12.15(木)香港の高級寿司店において黒石市産品を使用した料理提供によるプロモーションを実施。黒石市の認知度を効果的に向上させるため、市長、農産物生産者、現地の飲食業者・流通業者・メディア・インフルエンサーが参加。 【対象品目】寿司専米ムツシキ、牡丹そば、地酒	市長や生産者の強い想いを直に伝えながら本物の職人の寿司を食べてもらったことで、黒石市の農産物や観光PRなどを効果的に行うことができた。 香港などの成熟した市場での販促には、ストーリー性と売り手・買い手の想いを強く込めていくことが重要である。	R4補正 (地)	
18	単	新型コロナウイルス感染症対策事業(事務費追加)	健康推進課	①公共施設、学校・保育施設等における新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、まん延防止及び施設継続を図る。 ②公共施設、学校・保育施設等におけるまん延防止及び施設継続に係る事務費、消耗品費等 ③時間外勤務手当 660,000円 消耗品費 6,066,000円 通信運搬費 5,000円 委託料 104,000円 備品購入費 412,000円 ④公共施設、保育施設等従事者等	R4.4	R5.3	5,190	5,190		5,189	1	・公共施設用感染予防用品購入(貸出用サーマルカメラ1台327,800円、消毒液自動噴霧器2台72,730円、消毒液264,000円など) ・公共施設、保育施設等従事者、市内中学3年生への抗原検査キット配布(2,000個 2,846,250円)	・公共施設やイベントで使用するため、サーマルカメラ等のほか、消毒液等感染予防用品を購入し、施設利用者及び従事者の感染リスク及び感染拡大防止を図った。 ・公共施設、保育施設等従事者に抗原検査キットを配布し、感染の早期発見と感染拡大を図ったほか、市内中学3年生生徒に同キットを配布し、安心して高校受験に臨める環境維持に寄与した。	R4補正 (地)	
19	単	黒石市国民健康保険黒石病院新型コロナウイルス感染症対策検温・問診スタッフ雇用事業	健康推進課	①感染予防のため、出入口を一本化し検温・問診を実施 ②検温・問診に対応するスタッフとして、専門的知識が必要な事態を想定して、黒石病院の退職看護師を臨時雇用 ③3名を雇用(勤務時間(午前8時～正午) 賃金日額(5,156円) 交通費1名のみ月額2,000円 合計3,814,331円) ④黒石市国民健康保険黒石病院	R4.4	R5.3	3,815	3,815		3,815			臨時雇用者3名の人件費として、3,815,000円を黒石市国民健康保険黒石病院へ繰り出した。	臨時雇用スタッフが来院者に対し検温・問診を実施することで、新型コロナウイルス感染症罹患者の早期発見に繋がりを、院内での感染拡大を最小限に留めることへ寄与した。	R4補正 (地)
20	単	黒石市国民健康保険黒石病院新型コロナウイルス感染症対策事業	健康推進課	①新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者の受入と、一般患者の診療を両立していくために、感染対策を実施していく。 ②院内感染対策及び新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者の診療に係る経費 ③積算根拠 ・7ルコール等消耗品7,245,000円 ・面会制限時の受付業務委託料15,000,000円 合計22,245,000円 ④黒石市国民健康保険黒石病院	R4.4	R5.3	22,245	22,245		22,245			7ルコール等消毒材17,375点、感染EIJ7寝具等運搬用バッグ(水溶性/非水溶性)3,750枚、発熱外来職員用防寒靴2足分の購入経費7,764,574円と、面会制限時の受付業務委託料12か月分14,905,684円併せて22,670,258円の経費の内、22,245,000円を黒石市国民健康保険黒石病院へ繰り出した。	国や県からの補助金では賅いきれない経費(新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者の受入と、一般患者の診療を両立するために必要な経費)を補填し、医療提供体制の維持に寄与された。	R4補正 (地)
21	単	家庭学習のための情報端末用備品整備事業	学校教育課	①学習用情報端末を家庭学習のために活用するに当たり、持ち帰り用の充電器を購入し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業等の緊急時においても、端末の活用により児童生徒が家庭において学習を継続できる環境を整備する。 ②情報端末用充電器の購入 ③充電器 6,348円×1.10×2,114台(小学校1,373台・中学校741台) ④市内小中学校の児童生徒	R4.8	R5.2	14,764	14,764		12,645	2,119		充電器を2,114個購入し、小学校に1,373個、中学校に741個配置した。	感染症の拡大等による長期の休業時においても、学習用情報端末を家庭学習のために活用できる環境を整備することができた。	R4補正 (地)

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

22	単	歴史をテーマとした観光資源活用事業	観光課	<p>①令和3年度に制作し、BS朝日で全国放送した黒石市特別番組「ウチの歴史、知りませんか」は一定のPR効果があり、潜在的需要を喚起できた。アフターコロナの誘客に繋げるため、黒石の歴史や文化、温泉、自然等地域の観光資源を題材に黒石を巡るツアーを造成し、ツアー実施に向けたガイドの人材育成などの誘客促進の体制を構築する。</p> <p>また、県内・県外を対象としたツアーの実施や、市の魅力ある観光資源等を認知してもらうため、北東北三県大型観光キャンペーンに合わせた東北新幹線沿線上の駅構内店舗等での市の伝統工芸品の販売促進やPR等プロモーションを実施し、黒石市の知名度向上や今後の誘客に繋げ、観光需要の早期回復を図る。</p> <p>②ガイド育成、ツアー造成・実施に係る経費 ③旅費 ガイド育成に係る講師費用弁償 330,000円 報償費 講座講師料 330,000円 ツアー実施、誘客関係補助金 1,858,000円 時間外勤務手当 385,000円 消耗品費（コピー用紙等） 64,000円</p> <p>④観光客</p>	R4.7	R5.1	858	858			857		1	<p>黒石の歴史や文化、温泉、自然等地域の観光資源を題材に、講座を3回開催、ガイド人材育成を1回開催したほか、黒石を巡るツアーを造成し、ガイド付きの1泊2日の歴史巡りツアーを1回実施し、18人参加した。</p> <p>また、東北新幹線沿線上の駅構内店舗3店舗にこけし・こけし灯ろうの他、市の観光ポスターや観光パンフレットを設置し、市の魅力をPRした。</p>	<p>講座やガイド人材育成を実施したことにより、地元住民が観光客への魅力を伝えることができた。</p> <p>1泊2日の黒石を巡るツアーで、より深く現場をガイドすることにより、興味を持ってもらいリピーター獲得に繋がった。</p> <p>また、東北新幹線沿線の駅構内店舗で伝統工芸品等をPRすることにより、観光誘客及び販売促進に繋がった。</p>	R4補正 (地)
23	単	観光魅力発信事業	観光課	<p>①アフターコロナの誘客に繋げるため、ツアー造成・実施に向けた誘客促進のほか、市の歴史や文化を探究しながら紹介する、黒石だけの1時間の旅番組を制作した黒石市特別番組を北東北3県で放送し、落ち込んだ観光需要の早期回復を図る。</p> <p>また、市のまつり及び伝統芸能の人材育成を図りながら、市のまつり等に関心を持ってもらい、今後のまつりへの誘客に繋げるためノベルティを作成し、リピーターを増やす。</p> <p>②市の魅力を発信するためのテレビ放送に係る経費、ツアー客へのノベルティ製作 ③広告料 地上波放送料（青森県、秋田県、岩手県のテレビ朝日系列3局） 3,300,000円 地上波番組宣伝放送料 990,000円 委託料 データ編集加工等 435,000円 黒石ねぶた絵紙袋製作 3,740,000円 使用料 著作部分映像使用料 77,000円</p> <p>④観光客</p>	R4.7	R5.11	8,542	8,542			8,541		1	<p>観光誘客促進を目的に制作した、市の歴史や文化を探究しながら紹介する黒石市特別番組を北東北3県（青森県、秋田県、岩手県のテレビ朝日系列3局）で放送した。</p> <p>また、ねぶた絵師による直筆のねぶた絵を使用した紙袋を製作したことにより、まつり及び伝統芸能の人材育成を図るとともに、紙袋をツアー客へ配布し、観光客への認知度向上及び誘客促進を図った。</p>	<p>市の特別番組を北東北3県で放送したことにより、近場からの観光客が増加し、落ち込んだ観光需要の早期回復に繋がった。</p> <p>コロナ禍でまつりが中止となっていたが、ねぶた絵師による直筆のねぶた絵を使用した紙袋を製作したことにより、まつり及び伝統芸能の人材育成を図るとともに、紙袋をツアー客へ配布し、観光客への認知度向上及び誘客促進を図った。</p>	R4補正 (地)
24	単	伝統芸能披露活動支援事業	観光課	<p>①アフターコロナの観光誘客及び経済回復に繋げるため、黒石温泉郷へ宿泊する宿泊者に対し、観光施設等で、津軽三味線、津軽民謡、津軽手踊りなど伝統芸能を鑑賞できるお得なクーポン券や食事とセットの助成をし、観光誘客と伝統芸能の保存継承を図る。</p> <p>②郷土芸能を披露するための助成・活動費等 ③伝統芸能披露活動支援事業補助金 1,207,000円 時間外勤務手当 44,000円 消耗品費（チラシ作成等用紙、インク代） 232,000円</p> <p>④観光客</p>	R4.7	R5.2	1,352	1,352			1,351		1	<p>黒石温泉郷へ宿泊する宿泊者に対し、観光施設で津軽三味線、津軽民謡、津軽手踊りなど伝統芸能を鑑賞できるお得なクーポン券や、食事とお土産のセットとしたディナーショーを助成。</p> <p>クーポン券は、8月から10月までの3回開催10人の利用、食事とお土産のセットは、11月から2月まで8回開催し、123人の利用があった。</p>	<p>宿泊と伝統芸能をセットとすることで、宿泊者の増、伝統芸能の継承に繋がった。また、食事とセットとしたディナーショーを開催したことにより、国内外の方に市の伝統芸能・食文化の魅力を伝えることができ、リピーター獲得に繋がった。</p>	R4補正 (地)

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

25	単	商品券配布事業	商工課	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により停滞している市内経済を支援するため、マイナンバーカード取得者を対象に、黒石共通商品券を配布する。</p> <p>②令和4年6月30日時点で市に住民登録があるマイナンバーカードを取得済みの市民(10,745人)に郵送(簡易書留)で、及び令和4年6月30日までにマイナンバーカードを申請済みで令和5年1月13日までにマイナンバーカードを取得した市民には窓口手渡しで、一人につき2,000円分の黒石共通商品券を配布する。</p> <p>③マイナンバーカード取得者による地域経済活性化事業 25,758,000円 ・時間外勤務 25,000円 2,083円×3h×1人×4月 ・報償費 22,002,000円 郵送分 黒石共通商品券2,000円×10,745セット 窓口配布分 黒石共通商品券2,000円×256セット ・消耗品費(ファイル等) 10,000円 ・印刷製本費 218,000円 郵送用封筒印刷 18円×11,000枚×税 ・通信運搬費 3,503,000円 簡易書留 326円×10,745通</p> <p>④市民</p>	R4.7	R5.1	25,757	25,757		8,678	17,079	令和4年6月30日時点で、マイナンバーカードを取得済みの市民11,001人に対し、黒石共通商品券(1人当たり2,000円分)を配布した。	商品券を加盟店で利用することで、地域経済の活性化に寄与した。 事業効果 2,000円×11,001人= 22,002,000円	R4補正 (地)
26		削除				0	0							
27	単	弘南鉄道運行継続支援事業	企画課	<p>①原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症により経済的に大きな影響を受けている鉄道事業者を支援し、公共交通の運行継続を支援する。</p> <p>②支援金(収入の計画額と見込額の乖離額及び電力費の増加分の一部を沿線市町村における駅別利用者割合に応じて支援) ※負担割合(県1/3、沿線市町村1/3、事業者1/3)</p> <p>③54,121千円×1/3×24.0%=4,300千円(10万未満切捨て)</p> <p>④弘南鉄道株式会社</p>	R5.3	R5.3	4,300	4,300		4,300		原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、利用者の減少等の深刻な影響を受けている弘南鉄道株式会社に対して、弘南鉄道弘南線の運行維持を目的に支援金による支援を行った。 ○54,121千円(営業収益と動力費の計画額との乖離)×1/3×24.0%=4,300千円(10万未満切捨て)	弘南鉄道の経営安定化が図られ、地域住民及び観光客の交通手段の維持に寄与できた。	R4補正 (地)
28	単	弘南鉄道安全輸送設備等整備特別対策補助事業	企画課	<p>①新型コロナウイルス感染症の長引く影響による利用者及び運賃収入の減少により実施が困難となっている緊急的な鉄道施設等の修繕に係る費用について支援する。</p> <p>②車両屋根修繕費</p> <p>③総事業費の2割を沿線市町村で均等按分し、残り8割を駅別利用者数割合で按分する。 19,800千円(総事業費)×0.2×1/4=990千円 19,800千円(総事業費)×0.8×0.236=3,738.24千円 3,960千円+3,738.24千円=4,729千円</p> <p>④弘南鉄道株式会社</p>	R5.3	R5.3	4,729	4,729		4,728	1	新型コロナウイルス感染症の長引く影響による利用者及び運賃収入の減少により実施が困難となっている緊急的な鉄道施設等の修繕に係る費用について支援したことにより、車両屋根の修繕が図られた。	鉄道運行の安定性が保たれ、地域住民及び観光客の交通手段の維持に寄与できた。	R4補正 (地)

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

29	単	マイナンバーカード取得促進事業	市民環境課	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により停滞する地域経済への消費喚起や生活の質の向上を図るとともに、マイナンバーカードの取得を促進する。</p> <p>②令和4年7月1日以降マイナンバーカードを申請取得した市民に窓口で1人につき500円又は2,000円分の黒石共通商品券を配布する。</p> <p>③商品券 7,206,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張窓口等申請分 500円×1,000人=500,000円 ・市役所窓口等申請分 2,000円×3,353人=6,706,000円 <p>④市民</p>	R4.7	R5.1	8,706	8,706	1,500	7,206			<p>令和4年7月1日から令和4年10月31日までにマイナンバーカードの交付申請を行い、令和5年1月13日までに窓口で取得した者又は同日までに市が郵送により発送した者に黒石商店街協同組合が発行する黒石共通商品券2,000円を交付した。</p> <p>○商品券交付数 4,353人</p>	<p>地域経済への消費喚起及び生活の質の向上が図られ、マイナンバーカードの取得促進につながった。</p> <p>○申請率（J-LIS集計） 令和4年6月末時点で県内10市中10位だった申請率が令和5年1月末時点で7位まで上昇した。 ・令和4年6月 40.84%（県内10市中10位） ・令和5年1月 71.51%（県内10市中7位）</p>	R4補正（地）
30	単	黒石市農業資材高騰対策農業者支援事業①（国R3予算分）	農林課	<p>①新型コロナウイルス影響により、農業資材の価格が高騰しているため、農業者支援金を速やかに支給し、食料の安定供給と持続的な営農に寄与することを目的とする。</p> <p>②ア 農業資材高騰対策農業者支援金交付事業 イ 事業推進事務費</p> <p>③事業費：44,585千円 ア 補助金：44,000千円 (内訳：農業収入額) ～ 1,000千円：20千円×200経営体＝4,000千円 1,000～3,000千円：30千円×150経営体＝4,500千円 3,000～5,000千円：50千円×200経営体＝10,000千円 5,000～10,000千円：80千円×150経営体＝12,000千円 10,000千円～：100千円×135経営体＝13,500千円</p> <p>イ 事業推進事務費：585千円 (時間外勤務手当、消耗品費、通信運搬費)</p> <p>④農業者</p>	R4.7	R5.3	44,590	44,590		44,584		6	<p>農業を営んでいる者に対して農業資材高騰対策農業者支援金を交付した。</p> <p>(内訳) ①支援金：44,030千円 ・40千円×1経営体＝40千円 ・50千円×153経営体＝7,650千円 ・60千円×2経営体＝120千円 ・80千円×205経営体＝16,400千円 ・100千円×163経営体＝16,300千円 ・160千円×7経営体＝1,120千円 ・200千円×12経営体＝2,400千円</p> <p>②推進事務費：560千円</p>	<p>肥料を含む農業資材等の価格高騰に苦しんでいる農業者に支援金を交付することで経営の安定につながるとともに、生産意欲の維持・向上に寄与することができた。</p>	R4補正（地）
31	単	黒石市農業資材高騰対策農業者支援事業②（国R4予算分）	農林課	<p>①新型コロナウイルス影響により、農業資材の価格が高騰しているため、農業者支援金を速やかに支給し、食料の安定供給と持続的な営農に寄与することを目的とする。</p> <p>②ア 農業資材高騰対策農業者支援金交付事業 ア 補助金：12,000千円 (内訳：農業収入額) ～ 1,000千円：20千円×155経営体＝3,100千円 1,000～3,000千円：30千円×100経営体＝3,000千円 3,000～5,000千円：50千円×100経営体＝5,000千円 5,000～10,000千円：80千円×5経営体＝400千円 10,000千円～：100千円×5経営体＝500千円</p> <p>④農業者</p>	R4.7	R5.3	11,730	11,730		11,700		30	<p>農業を営んでいる者に対して農業資材高騰対策農業者支援金を交付した。</p> <p>(内訳) ①支援金：11,640千円 ・20千円×240経営体＝4,800千円 ・30千円×228経営体＝6,840千円</p> <p>②推進事務費：90千円</p>	<p>肥料を含む農業資材等の価格高騰に苦しんでいる農業者に支援金を交付することで経営の安定につながるとともに、生産意欲の維持・向上に寄与することができた。</p>	R4補正（地）

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

32	単	生活困窮者に対する物価高騰対応臨時特別給付金給付事業	福祉総務課	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、物価高騰に直面する生活困窮者に対し給付金の給付を行うことで、物価高騰等による家計の負担を軽減し、生活の安定を図る。</p> <p>②令和4年度市県民税均等割が非課税の者のみで構成される世帯の世帯主に対する給付金及び給付に要する事務費</p> <p>③・負担金、補助及び交付金 88,000千円 見込対象世帯数 4,400世帯×20千円=88,000千円 ・事務費 5,095千円 (内訳) 会計年度職員報酬 993千円 会計年度職員期末手当 171千円 職員時間外勤務手当 852千円 社会保険料 175千円 消耗品費 183千円(事務用消耗品) 印刷製本費 159千円(通知用封筒印刷) 通信運搬費 1,232千円(郵送料) 手数料 10千円(振込手数料) 委託料 1,320千円(システム導入委託料)</p> <p>④市の住民基本台帳に登録されている、令和4年度市県民税均等割が非課税の者のみで構成される世帯の世帯主</p>	R4.10	R5.2	89,145	89,145	30,000	59,144	1	対象世帯4,442世帯のうち4,218世帯に給付した。	支給率が94.96%になり、物価高騰による家計の負担を軽減することができた。	R4補正(地)
33	単	子育て世帯臨時特別給付金給付事業	福祉総務課	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、食料料費等の物価高騰に直面する子育て世帯に対し給付金の給付を行うことで、物価高騰等による家計の負担を軽減し、子育て世帯の生活の安定を図る。</p> <p>②給付対象児童(高校卒業前までの児童)を養育する世帯に対する給付金</p> <p>③負担金、補助及び交付金 38,830千円 対象児童数3,883人×10千円=38,830千円</p> <p>④市内で高校卒業前までの児童を養育する保護者</p>	R4.6	R5.3	135,905	135,905	97,075	38,830		青森県子育て帯臨時特別給付金25千円に10千円上乗せし、対象児童3,883人の保護者に給付金を支給した。	食料料費等の物価高騰に直面する子育て世帯に対し給付金を支給することで、家計の負担を軽減することができた。	R4補正(地)
34	単	価格高騰対策くろいし応援商品券発行事業①	企画課	<p>①コロナ禍において電気・ガス・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者に対し、『くろいし応援商品券』を発行することで、消費の支え等の支援を行うとともに生活者負担の軽減を図る。</p> <p>②令和4年9月30日時点で市に住民登録がある13,925世帯を対象に1セット20,000円の商品券を10,000円で購入(1世帯につき1セットまで)できる引換券を郵送する。引換券の郵送料及び商品券の発行・販売、参加店舗の調整、換金作業、プレミアム原資分などの事業の管理運営に対する委託料を主な経費とする。</p> <p>③価格高騰対策くろいし応援商品券発行事業 111,258,000円 ・通信運搬費 1,258,000円 ・委託料 プレミアム原資分 125,320,000円(10,000円×13,925世帯×0.9) のうち110,000,000円(11,000世帯分)</p> <p>④市民</p>	R4.11	R5.3	112,184	112,184		110,893	1,291	想定13,925世帯に対し、11,285世帯が商品券を購入。(購入率81.7%) 商品券参加店舗は208店舗。	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者を支援するとともに、黒石市内における消費を喚起し、地域経済を支えることができた。 【効果額】 発行総額：225,700,000円	R4補正(地)

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

35	単	価格高騰対策くろいし応援商品券発行事業②	企画課	<p>①コロナ禍において電気・ガス・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者に対し、『くろいし応援商品券』を発行することで、消費の下支え等の支援を行うとともに生活者負担の軽減を図る。</p> <p>②令和4年9月30日時点で市に住民登録がある13,925世帯を対象に1セット20,000円の商品券を10,000円で購入(1世帯につき1セットまで)できる引換券を郵送する。引換券の郵送料及び商品券の発行・販売、参加店舗の調整、換金作業、プレミアム原資分などの事業の管理運営に対する委託料を主な経費とする。</p> <p>③価格高騰対策くろいし応援商品券発行事業 33,209,000円 ・時間外勤務 492,000円 ・消耗品費 50,000円 ・委託料 (プレミアム原資分) 15,320,000円 (1,532世帯分) (事務費分) 17,347,000円</p> <p>④市民</p>	R4.11	R5.3	19,235	19,235			17,262		1,973	<p>想定13,925世帯に対し、11,285世帯が商品券を購入。(購入率81.7%) 商品券参加店舗は208店舗。</p>	<p>エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者を支援するとともに、黒石市内における消費を喚起し、地域経済を下支えすることができた。</p> <p>【効果額】 発行総額：225,700,000円</p>	R4補正 (地)
36	補	特定感染症検査等事業(疾病予防対策事業費等補助金)	健康推進課	<p>①新型コロナウイルス感染症に対する強い体制を整え、予防接種法に基づく風しんの定期予防接種を受ける機会がなかった世代に対し接種機会を確保することで、風しんの感染拡大防止及び疾病の予防を行い、もって公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>②検査費、役務費、需要費</p> <p>③・検査件数 ①2,948円×45人=132,660円 ②5,423円×3人=16,269円 ③6,952円×450人=3,128,400円 ④7,502円×6人=45,012円 ・国保連事務手数料300円×504人=151,200円 ・クーポン券印刷389,620円 ・クーポン券送料351,700円 ・その他8,936円 のうち 対象経費336,000円</p> <p>④市民</p>	R4.4	R5.3	399	399	168		168		63	<p>クーポン券送付用窓付封筒3,000枚(75,900円)、クーポン券送付2,906通</p> <p>・検査件数101件 ①0件 ②9件 ③2件 ④90件</p>	<p>R4から3年延長となった風しん抗体検査等の勧奨を推進し、コロナ禍でも対象者に対し検査及び予防接種の機会を設けることで、風しんの感染拡大防止及び疾病の予防に寄与した。</p>	R3補正 (国)
37	補	地域独自の観光資源を活用した地域の掲げる看板商品の創出事業(訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金)	観光課	<p>①アフターコロナの観光誘客を見据え、黒石市の食文化を用いた観光コンテンツの造成及び磨き上げを行い、自然志向の日本人や外国人をターゲットにし、地域の伝統料理や地元食材をベースに食の多様性を意識した取り組みを行う。さらに、食の周辺文化も豊かに存在するので、組み合わせることで付加価値の高い旅行商品の造成を目指す。</p> <p>②コンテンツ造成、プロモーションに係る経費</p> <p>③委託料 14,931,400円</p> <p>④観光客</p>	R4.8	R5.2	14,932	14,932	9,966		3,972		994	<p>食の多様性環境整備について、地域全体で取り組めるよう専門家によるセミナー等を行い、飲食施設等の対応店が4店舗から9店舗に増えた。津軽地域の食・文化・自然等の観光資源を組み合わせたプログラムコンテンツを8件造成しタリフを作成、モニターツアーを3回実施した。造成したコンテンツ等の動画や飲食店の紹介などによる特集サイトを制作した。</p>	<p>旅行商品を造成し、タリフを作成したことで、旅行会社等への市のコンテンツの紹介に活用できるようになった。モニターツアーを実施し、市の認知度向上と集客を図った。また、食の多様性を前面に出したプロモーションを行ったことで、飲食施設等の来店客数が増加した。</p>	R3補正 (国)

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

38	補	新型コロナウイルス感染症対策支援事業（子ども・子育て支援交付金）	福祉総務課	<p>①地域子ども・子育て支援事業実施施設において、新型コロナウイルス感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、衛生安全用品等の購入に要した費用のほか、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。</p> <p>②・感染防止のための衛生安全用品等の購入、施設の消毒に必要な経費 ・職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施するために必要な経費</p> <p>③延長保育事業（9施設） 定員20-59人 200,000円×2施設 定員60人以上 250,000円×7施設 一時預かり事業 300,000円×5施設 地域子育て支援拠点事業 300,000円×3施設 病後児保育事業 300,000円×1施設 放課後児童健全育成事業（12ヶ所） 定員20-59人400,000円×10ヶ所 定員60人以上500,000円×2ヶ所 乳児家庭全戸訪問事業 47,000円×1事業所</p> <p>④地域子ども・子育て支援事業実施施設</p>	R4.8	R5.3	9,634	9,634	3,207	3,220		3,207	施設の感染対策に必要な衛生安全用品の購入や施設の消毒に係る経費を補助した。 ・延長保育事業 9施設 ・一時預かり事業 5施設 ・地域子育て支援拠点事業 4施設 ・病後児保育事業 1施設 ・放課後児童健全育成事業 12クラブ	感染防止のための衛生安全用品の購入や施設の消毒を適切に行うことができ、子育て支援事業に携わる職員及び利用児童の健康維持と施設の継続開所に努めることができた。	R3補正 (国)
39	補	保育環境改善等事業（新型コロナウイルス感染症対策支援事業）（保育対策事業費補助金）	福祉総務課	<p>①保育所等において、新型コロナウイルス感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、衛生安全用品等の購入に要する費用のほか、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。</p> <p>②・感染防止のための衛生安全用品等の購入、施設の消毒に必要な経費 ・職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施するために必要な経費</p> <p>③保育所・幼保連携型認定こども園 定員20-59人 400,000円×3施設 定員60人以上 500,000円×10施設 児童厚生施設 300,000円×5施設</p> <p>④保育所、幼保連携型認定こども園、児童厚生施設</p>	R4.12	R5.3	6,084	6,084	3,043	3,041			施設の感染対策に必要な衛生安全用品の購入や施設の消毒に係る経費を補助した。 ・保育所・認定こども園 10施設 ・児童館・児童センター 5施設	感染防止のための衛生安全用品の購入や施設の消毒を適切に行うことができ、職員及び施設利用児童の健康維持と施設の継続開所に努めることができた。	R3補正 (国)
40	補	産後ケア事業を行う施設における感染拡大防止対策事業（母子保健衛生費補助金）	健康推進課	<p>①産後ケア事業を行う施設における新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図ることにより、母性並びに乳児の健康の保持及び増進を図る。</p> <p>②消耗品費</p> <p>③マスク（50枚入り）500円×1箱×1.1=550円、アルコール502,805円×2本×1.1=6,171円、コットンタオル1,071円×5袋×1.1=5,891円、防水シール2,240円×4袋×1.1=9,856円、アイガード（120枚入り）10,080円×1箱×1.1=11,088円、ディスプレイ5,600円×4箱×1.1=24,640円</p> <p>④市民</p>	R4.4	R5.3	54	54	26	27		1	・訪問件数18件 ・産前産後サポート実施回数 50回	産後ケア事業における新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施することで安全・安心に授乳指導や育児指導、乳房ケアなどを行うことができた。	R3補正 (国)
41	補	既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業（訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金）	観光課	<p>①トイレを洋式化し、ウォシュレット等を備えることで、アフターコロナに対応し、外国人も含め観光客の利便性を向上させる。</p> <p>②津軽こけし館トイレ改修工事費</p> <p>③工事請負費2,970千円</p> <p>④津軽こけし館</p>	R4.9	R5.1	2,970	2,970	1,485	1,250		235	津軽こけし館のトイレを国内外の観光客の利便性を考慮し、男子トイレ1基、女子トイレ2基のウォシュレット、センサースイッチ、オート洗浄等を備える改修工事を実施した。	市内で人気の観光施設である津軽こけし館のトイレを清潔、機能的、利便性を兼ね備えたトイレに改修したことにより、国内外の観光客を迎え入れる体制づくりができた。	R2補正 (国)

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

42	補	既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業（訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金）	観光課	①アフターコロナの観光誘客を見据え、黒石温泉郷に専門家を招聘し、泊食分離に係る実証実験を行う。 ②観光施設に係る調査分析、実証実験、プロモーションを一体として委託する。 ③委託料16,360千円 ④黒石温泉郷宿泊施設及び観光施設	R4.10	R5.1	16,360	16,360	8,179	6,544	1,637	黒石温泉郷に専門家を招聘し、宿泊施設13施設を調査し、泊食分離に係る実証実験を行った。	宿泊施設の経営者ごとに認識の深さが異なっていた経営課題について、専門家の助言を得る事で客観視できるようになった。市内の飲食店と連携することで、泊食分離が具体的に進展し、宿泊施設の担い手不足の一助になった。	R2補正 (国)
43	単	くろいしマッコカタログ事業	商工課	①コロナ禍において物価高騰等の影響を受けている市内事業者及び市民の負担軽減を図るとともに、地域の魅力ある商品やサービスを市民に提供することで、市内経済活性化と市内事業者の新規顧客獲得の契機とする。 ②本事業に参加する市内事業者（200社を想定）の商品（商品券等）をカタログにして市内全世帯（13,928世帯。R4年11月末現在）に送付し、申込みのあった1世帯につき1商品を抽選により決定し、配布する。 ③くろいしまッコカタログ事業 78,075,000円 ・時間外勤務 44,000円 @2,180円×2h×2人×5月 ・消耗品費（ファイル等） 15,000円 ・通信運搬費 2,939,000円 @211円×13,928世帯 ・委託料 75,077,000円 商品負担金 55,712千円 @4,000円×13,928世帯 デザイン費（カタログ製作、商品写真等） 2,998千円 印刷広告費（カタログ印刷、広告宣伝等） 5,549千円 振込手数料（商品負担金振込） 756千円 人件費（賃金、交通費等） 2,866千円 事務費（消耗品、機器リース等） 1,273千円 企画運営費（事務所賃借、連絡調整等） 2,600千円 委託手数料 1,604千円 消費税 1,719千円 ④市内事業者及び市民	R5.4	R6.1	57,252	57,252		20,129	37,123	（申込世帯数） 想定 13,928世帯 申込 11,286世帯 （参加店舗） 71店舗 （内容） カタログに掲載された商品から、希望する商品を10点を選択。1世帯につき1商品を抽選で参加店舗時から直接発送する。 参加店舗には、商品数に応じて、1商品あたり4,000円を支払う。	発送した商品数に応じて代金を支払ったため、店舗の売上になったほか、カタログには、商品だけでなく店舗情報も掲載したため、店舗のPRにもつながった。 事業効果 4,000円×11,286世帯＝ 45,144,000円	R4補正 (地)
44							0	0						
45							0	0						
46							0	0						
47							0	0						
48							0	0						
49							0	0						